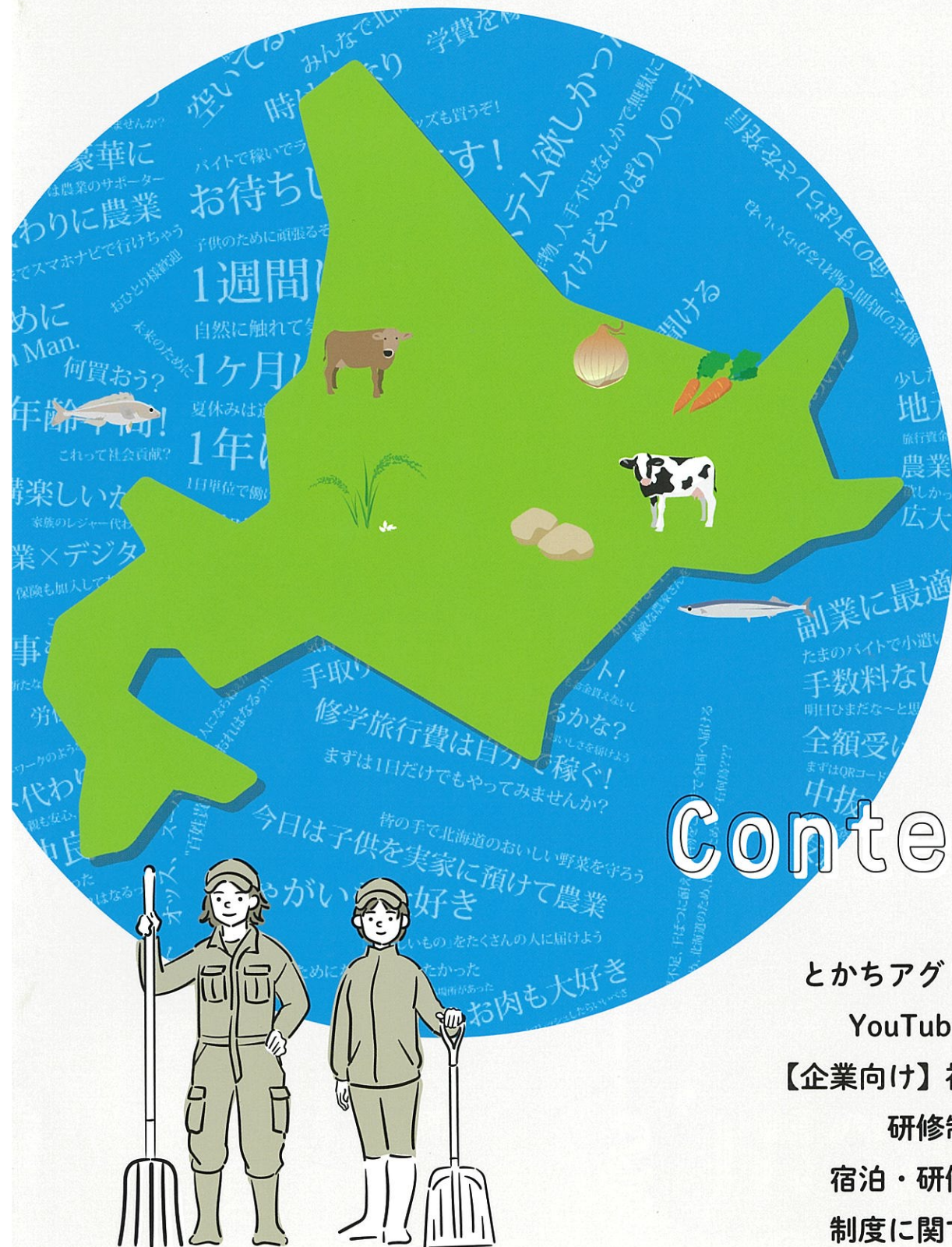


企業向け

とがちアグリワーク

# 社員研修制度



## Contents

十勝の農業

とがちアグリワークとは

YouTube チャンネル

【企業向け】社員研修制度

研修制度フロー図

宿泊・研修施設等一覧

制度に関する相談窓口



# 十勝の農業

## 十勝の自然(気象)

十勝は北海道東部に位置し、西に日高山脈、北に大雪山系、南と東は太平洋に接する地形状況にあります。夏季は比較的暖かく、令和5年には最高気温35.6℃を記録しました。冬季は寒冷高気圧(シベリア高気圧)により低温が続き、最低気温が-20℃を下回る日もあるなど寒さも厳しく、かつては-38.2℃(明治35年1月)を記録したことも有ります。年間の日照時間は北海道で最も長いです。また、降水量は少なく、特に、冬季は日高山脈で雪雲が遮られることから、積雪が少ない傾向にあり、冬の寒さによる地下凍結が著しいです。

## 経営耕地面積規模別農家数

農業経営体は減少傾向にあり令和2年度には、5,266経営体と平成7年度の61%となっています。

(単位：戸、%)

年度	農業経営体数	5ha未満	5~10	10~20	20~30	30以上 (30~50)	50以上 (50~100)	100以上
平成7年	(100.0) 8,604	(9.0) 777	(7.5) 646	(19.0) 1,633	(29.9) 2,569	(29.8) 2,562	(4.8) 417	
平成12年	(100.0) 7,472	(8.1) 607	(5.9) 439	(15.2) 1,139	(25.8) 1,930	(35.6) 2,660	(9.3) 697	...
平成17年	(100.0) 6,596	(6.4) 421	(4.6) 305	(12.7) 835	(23.8) 1,568	(38.6) 2,546	(13.4) 886	(0.5) 35
平成22年	(100.0) 5,978	(5.4) 321	(3.0) 177	(10.7) 642	(21.6) 1,291	(41.1) 2,458	(17.4) 1,039	(0.8) 50
平成27年	(100.0) 5,843	(8.2) 477	(2.9) 169	(8.8) 513	(17.9) 1,044	(38.9) 2,274	(20.1) 1,174	(3.3) 192
令和2年	(100.0) 5,266	(8.1) 428	(2.6) 135	(7.1) 375	(15.7) 829	(38.9) 2,048	(23.4) 1,231	(4.2) 220

(農林業センサス)



# Tokachi's Nature



## 農業就業人口及び基幹的農業従事者数の推移

農業経営体の減少とともに、農業就業人口も減少傾向にあり、令和2年度では13,512人と平成7年度の55%となっています。また、60歳以上の割合も45%と高齢化が進んでいます。

(単位: 人、%)

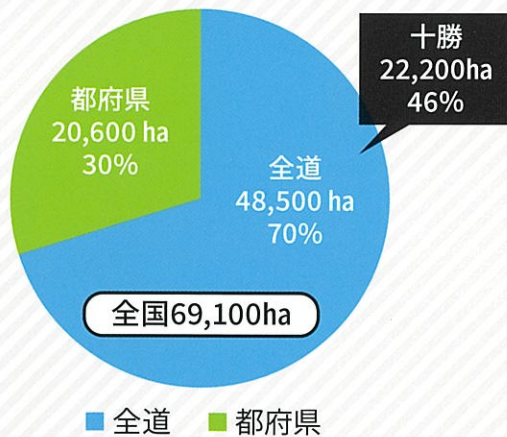
区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	
農業就業人口	総数	(100.0) 24,603	(100.0) 22,083	(100.0) 20,094	(100.0) 18,234	(100.0) 16,375	(100.0) 13,512
	(%)	(9.7)	(9.8)	(9.7)	(9.5)	(8.6)	(6.7)
	15~29歳	2,386	2,158	1,952	1,735	1,416	904
	(%)	(57.5)	(54.1)	(53.3)	(51.5)	(49.1)	(48.0)
	30~59歳	14,155	11,956	10,705	9,396	8,038	6,492
(%)	(32.8)	(36.1)	(37.0)	(39.0)	(42.3)	(45.3)	
60歳以上	8,062	7,969	7,437	7,103	6,921	6,116	
基幹的農業従事者数	総数	(100.0) 21,747	(100.0) 19,698	(100.0) 17,782	(100.0) 16,517	(100.0) 15,142	(100.0) 12,323
	(%)	(7.9)	(6.9)	(7.6)	(7.6)	(6.8)	(5.1)
	15~29歳	1,713	1,355	1,357	1,250	1,026	629
	(%)	(63.4)	(58.9)	(58.4)	(54.3)	(50.8)	(49.7)
	30~59歳	13,789	11,595	10,376	8,971	7,692	6,130
(%)	(28.7)	(34.3)	(34.0)	(38.1)	(42.4)	(45.2)	
60歳以上	6,245	6,748	6,049	6,296	6,424	5,564	

※ 令和2年の農業就業人口については、個人経営体の農業従事者 (農林業センサス)

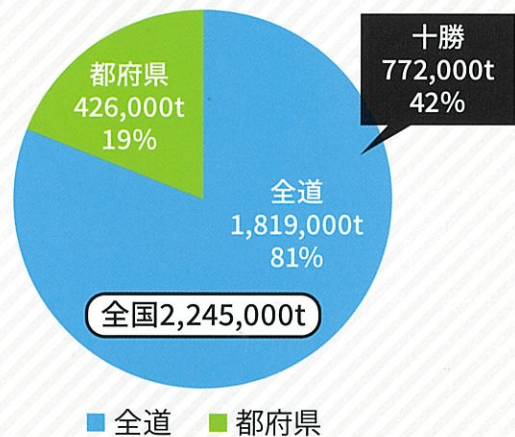
## 十勝の主要作物の現状

### 馬鈴薯

作付面積  
(2022年)

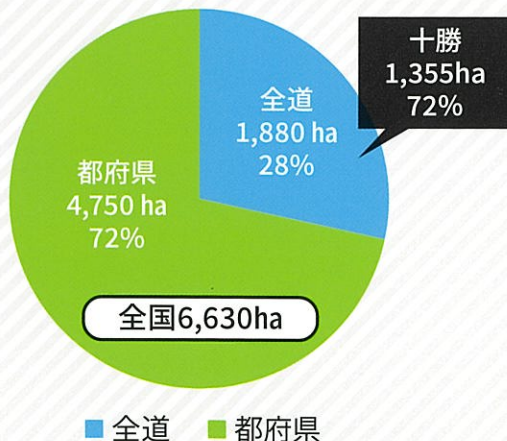


生産数量  
(2022年)

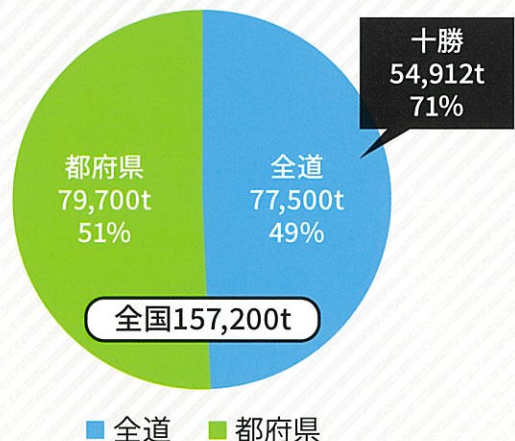


### 長芋

作付面積  
(2022年)



生産数量  
(2022年)





# とかちアグリワークとは

この組織は十勝管内JAの農業労働力確保担当で組織する任意組織です。平成31年に当時、『1日農業バイトdaywork』

を取り組み始めた、JA更別・幕別・帯広川西・帯広大正の4JAと事務局を担っていた帯広開発建設部の地域振興対策室、その後JAめむろが加わり『とかちアグリワーク』としてその活動が始まりました。当初は、『1日農業バイトdaywork』の普及活動・農作業動画の作成・視察研修等を中心として活動してきました。令和5年度で十勝管内の農家利用戸数444戸、働き手登録数7,500人となっています。現在は、十勝管内23JAの内22JAが「とかちアグリワーク」に参加して今日に至っています。

## 『1日農業バイトdaywork』のマッチング件数(延べ件数)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
マッチング件数	4,224	11,676	18,424	24,243	30,374

## 新たな事業展開

### 【酪農業における労働力確保人材育成支援事業】

十勝管内の酪農業で農業従事者の高齢化は深刻で、特に年間労働時間の約4割を占める搾乳作業が負担となっています。そこで、当組織が令和4年から令和6年の3年間JRA事業を活用して、搾乳作業バイトが出来る人材を育成する事業を展開しています。搾乳作業は一定の知識と技術が必要ですので、地域のJAやヘルパー組合職員がバイト希望者に研修を実施して人材を育成しています。現在、約30名の研修修了者がおり搾乳作業バイトに従事する予定です。



### 【農業労働力産地間連携等推進事業】

『1日農業バイトdaywork』で労働確保に一定の成果があったものの、年2回労働力が不足する時期があります。それは、馬鈴薯収穫時期の9月第1・2週と長芋収穫時期の11月第1・2週です。これらの2作物は、十勝管内のみならず全道で一斉に収穫作業が始まる為、労働力不足が常態化し『1日農業バイトdaywork』の充足率も80%台に落ち込みます。そこで、令和5年より馬鈴しょ・長芋収穫繁忙期に大都市圏の大手企業の社員の方に十勝に来てもらい、収穫作業に従事してもらう他産業連携事業を展開しています。令和5年度の実績としては、大手7企業、社員17名が参加し収穫作業に従事して頂きました。



# About TokachiAgriwork





## とかちアグリワークYouTubeチャンネル

とかちアグリワークでは、主な農作業についてどのような作業をするか動画を作成して配信をしています。

馬鈴薯



長芋



長芋バックホー



キャベツ



スイートコーン



酪農バイト



牛さんの搾乳



働きたい働きたくない



農作業事故を防ごう！



daywork操作マニュアル





# 【企業向け】社員研修制度

## 【目的】

この制度は、参加者に農業作業体験とJA施設見学を通じて、農業現場での作業や課題を体験することで農業に対する理解を深めて頂きます。また、農業作業体験を通じて参加者同士が協力し共同作業を行う事でチームワークやコミュニケーション能力の向上に繋がり、更には、農業の重要性や社会的な役割を理解し、社会貢献の意識を高めて頂く事を目的としています。

当研修制度は、体験研修+JA施設研修からなり詳細については下記の通りです。

## 【体験研修】 農業者圃場での収穫作業

- 1、対象者 とかちアグリワークと連携できる企業の社員
- 2、受入期間 要相談
- 3、研修時間 収穫作業時間は原則8:00~17:00です。  
休憩時間は午前・午後で各15分程度、お昼休憩60分です。
- 4、申込み とかちアグリワークの[【企業向け】社員研修制度ホームページ](#)より申し込んで下さい。
- 5、交通費 参加者負担(企業側負担)
- 6、宿泊費 参加者負担(企業側負担) 【受入農家及び受入JAより一部支援有】  
※**宿泊先については、とかちアグリワークより斡旋します。**
- 7、レンタカー 参加者負担(企業側負担) 【受入農家及び受入JAより一部支援有】  
※**宿泊先と農家圃場までの交通手段(レンタカー)として必要です。**
- 8、飲食費 期間中の飲食については、原則参加者負担です。  
※**【注意点】収穫作業時には各自お弁当が必要です。**
- 9、保険関係 研修先の農業者が労災保険(中小事業主等)に加入しています。

## 【JA施設研修】

- 1、研修先 体験研修の受入れJA施設等  
※**都合により、他JAの施設を研修する場合があります。**
- 2、対応者 原則受入れJAの担当者
- 3、研修時期 要相談【原則:体験研修終了後、次の日の午前中2時間程度】

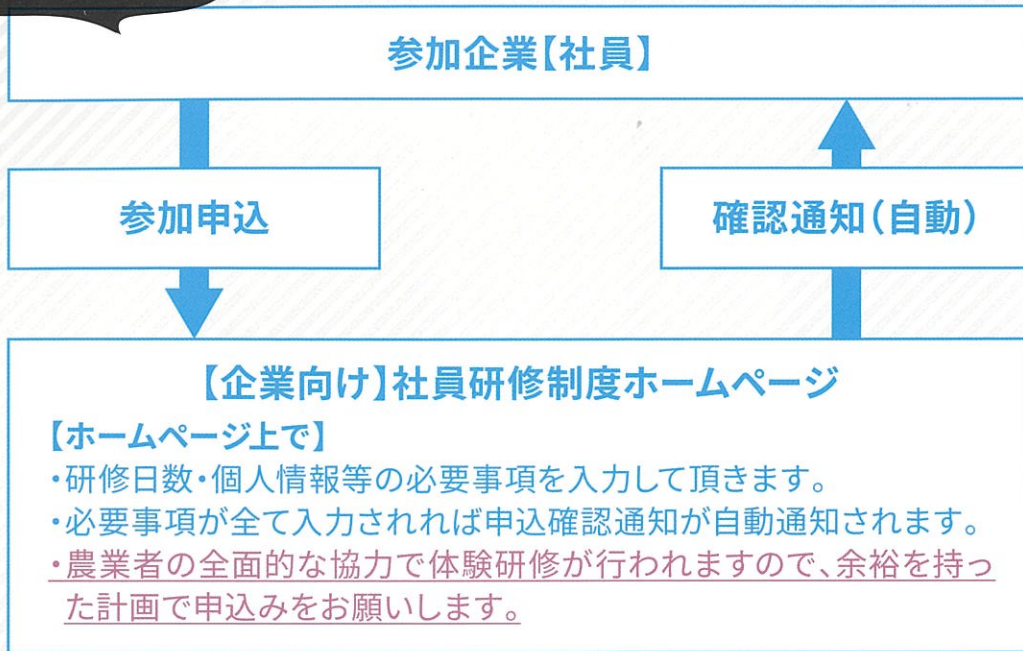


ご応募はこちらから



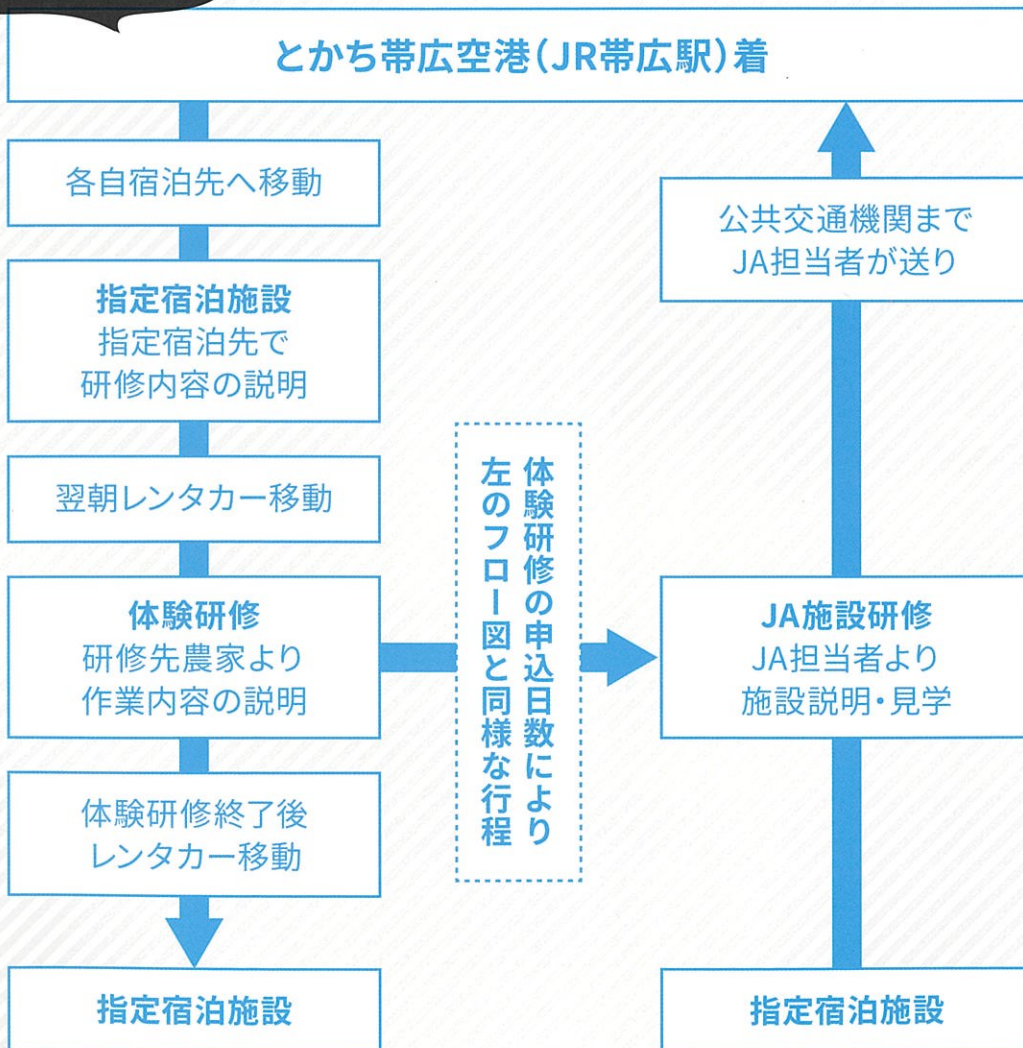
## 研修制度フロー図

### 研修申込



### 研修時の流れ

※天候等により体験研修が出来ない場合があります。





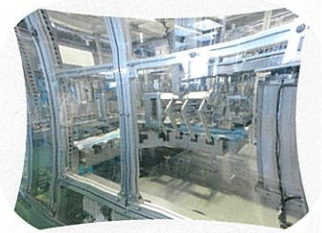
## 宿泊・研修施設等一覧

# Facility

### 幹旋予定の宿泊施設



### JA研修予定施設



### 使用予定のレンタカー



TOKACHI  
AGRIWORK

# Consultation

制度に関する相談窓口

事務局: とかちアグリワーク (担当: 大野)

電話: 090-1521-5147

メール: [katsu@ja-sara.nokyoren.or.jp](mailto:katsu@ja-sara.nokyoren.or.jp)

URL <https://tokachi-agriwork.jp/>

